



農林中央金庫



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）
を支援しています。



三菱地所物流リート投資法人

2022年2月25日
農林中央金庫
三菱地所物流リート投資法人

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）と、三菱地所物流リート投資法人（執行役員：高梨憲、以下「MEL」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLL は、借り手の ESG 戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件を SPTs の達成状況に連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促進し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長を支援することを目指すものです。

MEL は、環境への配慮・社会貢献・ガバナンスの強化といった、社会の持続可能性（サステナビリティ）向上に取り組んでいくことが、上場投資法人として期待されている社会的責務であり、投資主価値の最大化を図る上でも不可欠であると考えています。こういった考えを実践するため、MEL の資産運用会社である三菱地所投資顧問株式会社とともにサステナビリティに対する考え方を共有し、2019 年 4 月に基本指針である「サステナビリティ方針」を定めました。この方針に基づき、日々の業務において ESG への取り組みを実践しております。更に 2021 年 12 月には、気候関連財務情報タスクフォース（TCFD）提言に賛同するとともに、MEL におけるマテリアリティやリスクと機会の特定、その分析評価や KPI（Key Performance Indicator）の設定を行いました。

また、農林中央金庫は、2021 年 5 月に公表した 2030 年までの中長期目標として、サステナブル・ファイナンスの新規実行額 10 兆円を掲げるなど、サステナブル経営の実践を目指しています。本件ローンによる資金供給を通じ、環境・社会課題のうち、当金庫の基盤となる農林水産業との関連が大きい気候変動問題の解決に貢献するものと評価しております。

本件ローンでは、MEL の特定したマテリアリティに基づく目標を踏まえて、CO2 排出量（2030 年度目標：2017 年度比 30%削減、原単位ベース）、エネルギー消費量（2030 年度目標：2017 年度比 15%削減、原単位ベース）、グリーンビルディング認証取得割合（2030 年度目標：100%）に加え、本件ローン独自の SPTs としてGRESBリアルエステイト評価（目標：2030 年度まで 4 Stars 以上取得の継続）を SPTs に設定いたしました。





なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則への準拠性や、設定した SPTs の合理性について、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しており、上記 SPTs については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されております。

<p>【本件に関するお問い合わせ先】</p> <p>農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 03-6362-7172</p> <p>三菱地所投資顧問株式会社 物流リート部 03-3218-0030</p>

【本件ローンの概要】

■ 実行日	2022 年 3 月 1 日
■ 融資期間	10 年
■ 金額	20 億円
■ 資金用途	物件取得資金

【本件ローンが貢献する主な SDGs】

SPTs の内容	貢献する主な SDGs
<p>① CO2 排出原単位：2030 年度までに 30%削減（原単位ベース、基準年 2017 年）</p> <p>② グリーンビルディング認証取得割合：2030 年度までに 100%まで向上</p> <p>③ エネルギー消費原単位：2030 年度までに 15%削減（原単位ベース、基準年 2017 年）</p> <p>④ GRESB リアルエステイト評価：2030 年度まで 4 スター獲得の継続</p>	   

【参考リンク】

MEL の ESG サイト：

<https://mel-reit.co.jp/ja/esg/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上